

# 東日本復興支援ボランティア

—宮城県東松島市と岩手県陸前高田市—

日時：宮城県東松島市： 6月28日（火）～7月2日（土）

岩手県陸前高田市：7月5日（火）～7月9日（土）

2011年3月の東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

5月～7月に、協力機関である東大阪市社会福祉協議会は、被災地とのネットワークを生かして、東大阪市に在住・在勤・在学の人を対象にボランティアを募り、宮城県東松島市と岩手県陸前高田市に派遣しました。宮城県東松島市には約30名、岩手県陸前高田市には約60名のボランティアが参加しました。央戸ゼミからは、宮城県東松島市に3名、岩手県陸前高田市に7名が参加しました。

私たちがこの活動に参加した理由は、自分にも何か出来ることをしなければならない、と思ったからです。阪神淡路大震災の時にはまだ幼く、記憶も定かではありませんでしたが、今回のような大地震、大津波、そして原子力発電所のメルトダウンが起き、他人事で済ませてはならない、自分の目で現地の状況を確認、現地の悲惨な状況を目に焼き付けなければならないと思ったからです。

夜7時に東大阪市をバスで出発し、15時間後に現地に付きました。そのままボランティア活動を始めました。活動期間は3日間です。民家の泥だし、重機が入れない田畑や保育所などに流れ込んだ瓦礫の撤去、道路の汚泥の除去など一生懸命手伝っていただきました。活動の中で、たくさんの人たちと交流しました。被災地は住んでいた面影がなくて悲しい状況でしたが、被災された方々もボランティアの方々も一人一人が復興に向けて協力し合っていました。現地の方とすれ違うたびに「ありがとうございます」、「ご苦労さまです」と声をかけてくださり、元気を与えに行ったつもりが、逆に元気をもらった気がしました。参加して自分たちももっとやるべき事を考えていかなければならないと思いました。短い期間で何が出来るか分かりませんでしたが、少しでも自分たちの力が役に立ったのではないかと思います。現在、現地ではマンパワーが不足しています。機会があればまた参加させていただきたいです。

【井上、濱田、西村、雑賀、渡邊、昇、安井、井上、白井、岩崎】

